

東京都高体連男子変更規則(2022年版)

東京都高体連男子変更規則(2022年版)を適用する競技会において、当規則を適用する。
当規則に掲載されていない部分に関しては、2022年度版高等学校採点規則に準じて採点される。

技数不足による減点

- 演技内に認められた技数が7技未満であった場合は下記の通り、D1審判が決定点から減点する

7技	⇒	0.0 (決定点から)
6技	⇒	-1.0 (決定点から)
5技	⇒	-2.0 (決定点から)
4技	⇒	-3.0 (決定点から)
3技	⇒	-4.0 (決定点から)
2技	⇒	-5.0 (決定点から)
1技	⇒	-6.0 (決定点から)

種目特有の要求によるNDの対応

- ニュートラル・ディダクション

ゆか 2回宙返りを実施しなくてもNDの対象にはならない。

あん馬 馬体の3部分を使用しなかった場合のNDは適応しない。

つり輪 振動倒立技が入っていても、NDによる減点は行わない。

難度認定

- 以下の技をa難度（スモール・エー）として0.1の難度点を与える。

ただし、技のグループは満たせない。

ゆか

- ・ 前転技群（前転、開脚前転、伸膝前転、倒立前転）1技まで
- ・ 後転技群（後転、開脚後転、伸膝後転、後転倒立）1技まで
- ・ 側方倒立回転
- ・ ロンダート

あん馬

- ・ 四つ足（左入れ～右入れ～左抜き～右抜き）：逆も可
- ・ 2つ目以降の横向き旋回（両把手、馬端、逆馬端でそれぞれ1つの技）
- ・ 2つ目の正交差、2つ目の逆交差（左右それぞれ1つの技）

つり輪

- ・ 肩倒立（2秒）

平行棒

- ・ 開脚前拳支持
- ・ 腕支持後ろ振り上がり支持
- ・ 前振り後方かかえ込み宙返り下り（棒間）
- ・ 懸垂前振り後方かかえ込み宙返り下り（棒間）

- 鉄 棒
- ・懸垂前振りひねり（水平以下）
 - ・懸垂前振り逆上がり
 - ・後ろ振り上がり支持
 - ・両手を同時に持ち換える技
 - ・前方支持回転
 - ・後方支持回転
 - ・後方足裏支持回転振り出し下り

● 以下の技の難度（価値点）を認定する

- あん馬
- ・落下後、両足でマットを蹴って直ちに「下向き下り」を実施する。
→難度を認定する。（グループⅣ/A難度）

- つり輪
- ・ほん転逆上がり肩倒立、後ろ振り上がり肩倒立（グループⅠ/C難度）
E 審判による減点あり
 - ・前方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）
 - ・後方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）

- 跳 馬
- ・開脚とび Dスコア 1. 0
 - ・閉脚かかえ込みとび Dスコア 1. 2

- 平行棒
- ・前振りひねり倒立45°未満（グループⅠ/C難度）
E 審判による減点あり
 - ・前方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）
 - ・後方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）

- 鉄 棒
- ・け上がり支持（グループⅢ/A難度）
 - ・前方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）
 - ・後方かかえ込み宙返り下り（グループⅣ/A難度）